



令和 5 年 9 月 29 日

## 令和 5 年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」に選定

### ◆発表のポイント

- ・ 文部科学省が公募を行った令和 5 年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」（事業年度 令和 5 年度～令和 10 年度）に、岡山大学の事業「岡大発・女性もっと活躍宣言！WITH プラン」（図 1）が選定されました。
- ・ 本学はこれまで女性研究者の育成、上位職への登用等を進めてきましたが、女性教員の割合は令和 4 年度現在、教員全体で 19.9%、准教授は 20.3%、教授は 10.6%に留まっており、学部生に占める女性割合からも大きく隔たった状況となっています。
- ・ 本事業では、本学のダイバーシティ&インクルージョンを推進し、教育・研究をより活性化するため、全学を挙げて女性教員の割合を増加させ、教授 14%以上、准教授 25%以上、教員全体 25%以上を達成することなどを目指します。

本事業では、「岡大発・女性もっと活躍宣言！WITH プラン」をコンセプトに、新たに「岡山大学版リーダー育成プログラム」を実施し、女性上位職・管理職候補者を育成するとともに、准教授以上の上位職女性教員の増員ならびに女性教員割合の増加を図ります。このプログラムでは、教授等上位職として活躍するために必要な能力・スキルを涵養するため、多様なロールモデルの提示と具体的なリーダー像やスキルに関するイメージの獲得、地元企業とも連携しグローバルな視点も踏まえたマネジメント力等の養成、シンポジウム・国際共同研究の企画・運営による実践力・国際力の養成、さらに、実際の組織運営への参画により管理運営能力の涵養を行います。同時にプロモーションメンター制度により相談やフィードバックの体制を整備します。

また、部局ごとに女性教員在職割合の目標値を設定し、新規教員採用に占める女性割合を政府が定めている目標値以上とし、理系学部の女性教授を現在の 4 倍以上に増加させるとともに、全学の教授、准教授、教員に占める女性割合をそれぞれ 14%以上、25%以上、25%以上に増加させることを目標とします。さらに、役員および教育研究評議会構成員の女性割合をそれぞれ 30%以上、20%以上に増加させるなど、意思決定機関への女性登用を進めます。同時に、男女問わず研究環境の改善に努め、その上で女性教員の研究活動を一層支援するとともに、博士後期課程大学院生を含む若手女性研究者の育成に努めます。



**岡大発・女性もっと活躍宣言！WITHプラン**  
 Whole university efforts for Increasing promotion of female faculty members To Higher positions

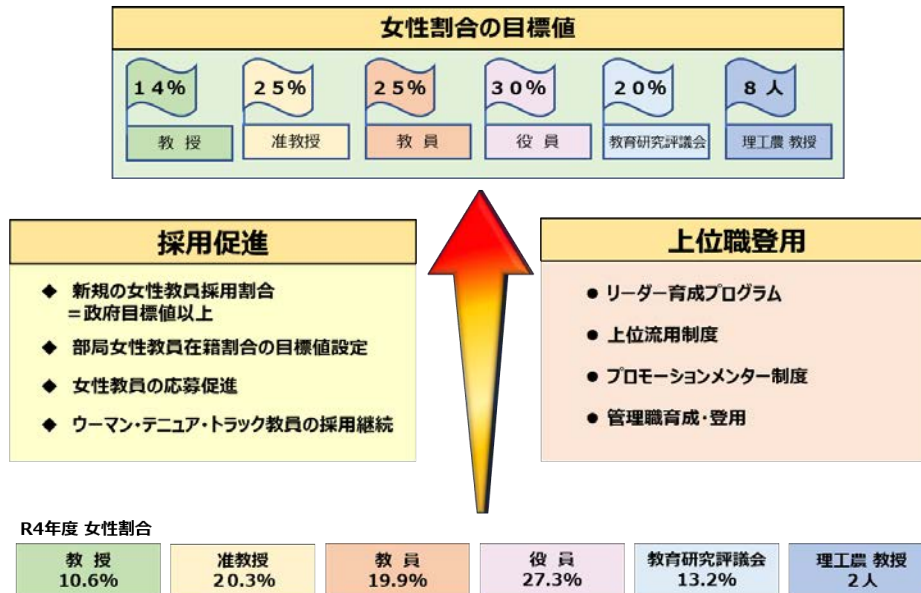


図1. 本事業の目標

■発表内容

<背景>

岡山大学は、SDGs 推進大学として、真のジェンダー平等とダイバーシティ&インクルージョン (D&I) の実現を目指しています。これまでに、平成 20 年度に男女共同参画室を設置し、平成 21 年度に文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業、平成 27 年度に科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (特色型)」、令和元年度には同じく科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (先端型)」に採択され、構成員の意識改革及び女性研究者支援に大学を挙げて取り組み、一定の成果を挙げてきました。これまでの取組では、一貫して、若手・中堅の女性教員を支援・育成し、上位職に登用し、それらの教員がロールモデルになることで次世代女性研究者を育成・支援する「循環型」を目指してきました。その結果、女性研究者採用割合は、平成 27 年度の 28.2%と比較し、令和 4 年度には 36.6%と大きく増加しています。上位職登用については、平成 27 年度以降、女性教員特別昇任制度 (ポストアップ制度) およびポストアップ Plus 制度により積極的に進めてきました。しかし、女性教員の在職割合をみると、令和 4 年度は 19.9%であり、その内訳は教授 10.6%、准教授 20.3%、講師 23.1%、助教 27.1%と低い水準にあり、中でも教授の女性割合が著しく低い状況にあります。

<本事業の取り組み>

・女性上位職候補者の育成と発展的な登用制度の整備を両輪として、実力ある女性教授・准教授の増員を進めます。研究力、教育力、指導力、マネジメント力を備え、リーダーシップを発揮できる女性上位職候補者の育成を強化するため、「岡山大学版リーダー育成プログラム」(図2)を新たに



## PRESS RELEASE

実施します。登用に関しては、理系学部（理・工・農）を対象に新たに構築する上位流用制度等により6人以上の女性教授を登用し、理系学部の女性教授の人数を現在の2人から4倍以上に増員します。その他の部局にも特に教授・准教授の採用や登用を加速するよう促し、全学の女性教授割合14%以上、女性准教授割合25%以上を達成します。

- ・役員における女性割合を30%以上、教育研究評議会構成員の女性割合を20%以上にするなど、意思決定機関における女性の登用を進めます。女性管理職候補者を育成するため、プロモーションメンター制度を新設して、候補者をサポートします。

- ・部局ごとの女性教員新規採用割合は第6期科学技術・イノベーション基本計画に示された分野ごとの数値以上とします。これにより、教員全体に占める女性割合については、25%以上を目指します。女性教員採用・登用の必要性・重要性に関する理解を深めるため、管理職等を対象としたセミナー等を開催します。

- ・保育環境の充実などにより、ウェルビーイングを実現する環境を整備することで、ありがたい未来を共に育み、共に創る研究大学を目指します。女性教授を含めた全学的な女性教員ネットワークを構築し、その声を取組に反映させることで、女性大学院生を含む次世代女性研究者の育成への取組を一層強化します。

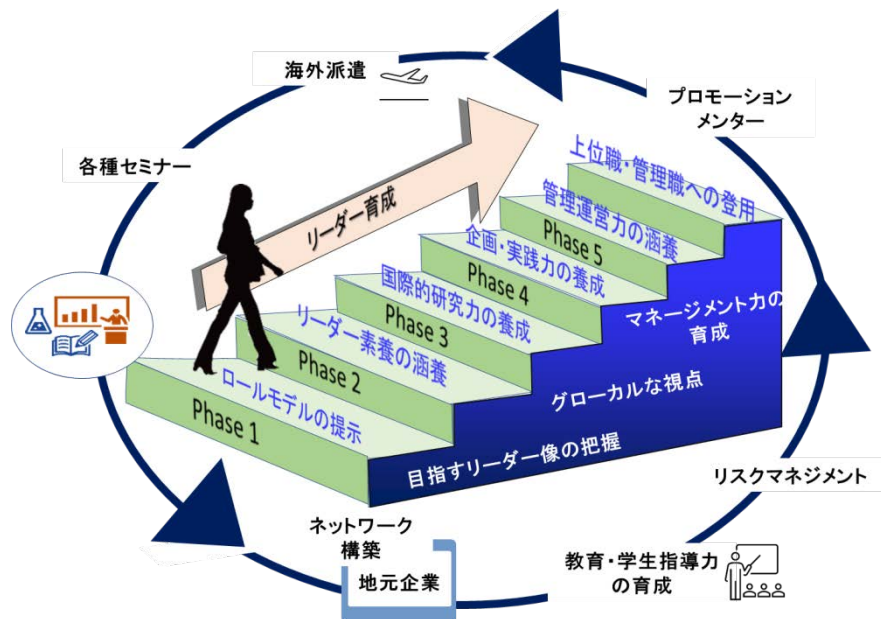


図2. 岡山大学版リーダー育成プログラム

### <社会的な意義>

本事業の実施により、岡山大学は、SDGs 推進大学として、真のジェンダー平等とダイバーシティ&インクルージョンの実現を目指すとともに、教育・研究・運営に一層活力ある大学となり、社会に貢献することを目指しています。本事業では、部局ごとに定める女性教員の採用割合の目標値を第6期科学技術・イノベーション基本計画にある分野ごとの女性教員の新規採用割合以上とすることで、国の数値目標の達成に貢献します。また、役員の女性割合30%以上、教育研究評議会構成員の女性割合を20%以上とすることで、第5次男女共同参画基本計画に示された「大学や企業等



## PRESS RELEASE

において、意思決定を行う経営層、管理職や教授など現場のトップや、研究現場を主導する上位職に女性研究者を積極的に登用」を実現します。本事業の実施による経験や知見については、シンポジウムやホームページ等により積極的に公表するとともに、「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（全国ネットワーク中核機関（群））」の幹事大学として、全国ダイバーシティネットワークを通じて公表し、他機関への普及を図ります。

### <お問い合わせ>

岡山大学総務・企画部人事課ダイバーシティ推進室

（電話番号） 086-251-7303

（メール） [diversity@adm.okayama-u.ac.jp](mailto:diversity@adm.okayama-u.ac.jp)



岡山大学  
OKAYAMA UNIVERSITY

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

岡山大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

